

月出川柳の会 題一三二号 令和六年六月三十日

よく降った梅雨もちょっと一休み、クーラーを入れた句会になりました。出席者十四名、投句者五名、小学生三名。題が「ずるい」でしたので同想句もありましたが、ユニークな句も目立ち賑やかな句会になりました。

七月の句会…令和六年七月二十八日(日) 午前十時～十一時四十五分 集会所

題… 「ずるい」

六月の句会から、題「ずるい」

* 行列で友達見つけ紛れ込む

隆子

(よくある光景で、皆さん納得の最多共感句。でも数の限られている場合の紛れ込みはご法度。実際に、後ろに並べるときっぱり注意すると、周りの人から ありがとう と言われたとの経験談あり。注意するにも勇気が要り見事な正義感です。頼もしい。)

* 国民には納税の義務言うクセに

憲郎

(自分たちが法律を作っておいて、それを平気で破るとは、これほどひどい国民に対する反逆はありませんよ。右の句に並んで最多共感句。この様な人物を国会に送る私たち選挙民の意識の低さが一番の難題です。議員の中に自浄作用を牽引する人物がいればと期待します。)

* 議員さん秘書が秘書がと知らんぶり

和博

(秘書一人を管理できない者が国政を担う資格はあり得ない。仮に秘書の不始末としても、その主として責任を全くとらないのは道義に反しています。)

* 子会社を泣かせて親は丸もうけ

六郎

(去年の大企業の決算は過去最高の利益だと報道されました。いつの世も弱者にしわ寄せがいくのが習いになっています。皆が潤う政治に一步ずつでも進まない未来に夢無し。)

* 最後にはずるい涙で勝負する

伸子

(涙には弱い男の泣き所 を上手く突きました。これは若い頃の話で、後はすっかり手なずけたのとこと。実にしたたかな佳句を戴きました。)

* 規約など文字は小さくずるいです

英代

(読んでくれると言う魂胆ありありです。)

* 好かれますいいところ取りのじいじだけ

早苗

(婆ちゃんは羨けも考えて孫育てしますが、爺はひたすら可愛がり、気に入られるだけでずるいこのと。題から少し遠い句になりますが、まご相手溺愛ばかりするじいじ)

* おとうさん狡い女になりました

千恵

(着想がユニークで、自分から狡い女と言うところが可愛いくて罪がないと意見がありました。同感。)

* ずるい人あとで必ずお返し

雅子

(因果応報的なお返しと言うより、ずるい事をした事への自責の念と言う、より深い意味があるとの意見がありました。さらっと目を通すだけでは気づかない奥行き。有難いご指摘です。)

* 政治家のずるい答弁腹立たし

展行

(記憶にないなどと、空々しい嘘をつく。それも下っ端ではなくて、閣僚を務める者たちの言動です。なので倫理にもとる道義的責任ありですよ。金バッジ剥奪しなければ。)

* だれにでも内緒だからと言いつら

蓼

(世間にありがちな行為に注目されました。罪のないうわさ話ならまだしも、今はSNSで瞬時に拡散して犠牲者まで出る事件に発展します。口は禍の元ですが、井戸端会議はコミュニケに大切。)

* 行列に友を見つけて合流す

てるみ

(先出の最多共感句と全く同じ着想の句ですが、下五の合流すの表現で報告調の句になりました。川柳と言えども詩ですので、軽みのある詩情が読者に受け入れ易くなります。勉強になる一句。)

* 生まれつき賢さ無くて狡できず

まさひろ

(どうしてどうして謙譲の美德を装ったところが狡い。愉快な句をいただきました。)

* 何色も持てるはずなきドーピング

しんこ

(ドーピングがユニークで着想が面白い。オリンピックでと付記がありました。参考までに、ドーピングでも取りたい金メダル(智恵子)と言う句があり、選手の食欲な気持ちを読み取れます。)

* ずるい政治逃げ道作りあやうやに

桐子

(先の国会で成立した政治資金規正法です。金のかからない政治を目指さなければならぬのに、元総理大臣たるものが堂々と政治には金が必要と公言する始末。政党助成金を何と心得るのか。全く分かったらん。)

* 欠点のない人がいるずるい人

洋子

(奇想天外の発想ですばらしい。大谷さん欠点がないと付記あり。天は二物を与えずと言うのに。)

* パーティー券ずるい手口で知らぬ顔

まゆみ

(考え抜いた作者の力作とのことですが、今自民党を揺さぶっている裏金問題と想像はつくものの、句からはずるい手口とはどんな事分かりません。要は裏金を脱税しておいて、議員たち皆が知らぬ存ぜぬと押し通している態度が狡い。五七五には重たい内容ですが、パーティー券裏金にして税逃れ)

* 後から来て話しすり替えご満悦

遊位子

(これも面白い着想です。とにかく話題を分捕って中心に居たい人。賑やかし手でしょう。)

* 夫婦ゲンカ反撃ずるいそう涙

貴美子

(必勝の一手、そして無言の行で後を締め。)

* 仏よりわたしが先と朝のお茶(生きている人ファーストで勘弁してもらいましょう。)

伸子

* 心に住む狡い思いが顔を出す(習慣になっても手抜きしたいことありますよ)

桐子

* 十年後話題にならない時を待つ(政治資金の用途開示を十年後とはふざけてる。)

隆子

* 言い逃れ褪せた糸色元は赤(赤い糸で結ばれても、やがて色あせさようなら。)

しんこ

* だまされたほんとはずるい人だった。(ずーっと上手くだまされましょう。)

雅子

* 飲み会に来ては早くに帰る人(会費払わずに。)

蓼

* 電気代夏だけ補てんずるいわね(人気どりのつもりでしょ。)

英代

* お母さんヤキイモひとりで食べたでしょ(かわいい抗議。)

憲郎

* 狡したら空の父母泣きますよ(やさしい注意。子の心に届くかなあ。)

まさひろ

* 逃げ道に狡さも大事一人っ子(場合によっては狡さも知恵の一つ。)

千恵

* 五本ある四本だけを分けてやる(まず一本は自分でちゃっかり確保。)

和博

* 難解にこっそりスマホ知ったふり(入試にまでスマホでカンニング。)

貴美子

* ずるいとは思いうかばず初がつお(自分一人で舌鼓。ずるいよ。)

洋子

* ずる議員知らぬ存ぜぬ記憶なし(逃げの常套句)

展行

* 誇大広告個人差ありで無責任(買った方へ責任転嫁)

遊位子

* 広告は注意事項の文字小さく(まるで詐欺まがい。)

てるみ

* ずる杖車イス乗る空港で(空港スタッフの手を借りるための悪知恵。)

早苗

* 物価高便乗値上げゆるさねぬ(上手い時事吟。締め句に載きます。)

まゆみ